

【2年生】職場体験学習に向けて

～ホテルの支配人に学ぶ「心をつなぐマナー講座」～

① プロの心構えに触れる!マナー講座がスタート

7月1日(水)、本校の2年生を対象に、職場体験学習に向けた「マナー講座」を開催しました。講師として、シャトレゼキングダムせとうち支配人の古谷 徹様をお招きし、社会に出る上で、そして人と関わる上で最も大切な「マナー」についてお話を伺いました。

ホテルの第一線で活躍される支配人ならではの、凛とした佇まいと温かいお言葉に、生徒たちは一気に引き込まれていきました。



② 「体で覚える!」語先後礼と3つのお辞儀

講座の中では、マナーの基本となる「挨拶・表情・態度・言葉遣い・身だしなみ」の5つの柱について教えていただきました。特に盛り上がったのは、実践を交えたお辞儀の練習です。

会釈(軽い挨拶)、敬礼(一般的な挨拶)、
最敬礼(深い感謝や謝罪)

これら3つのお辞儀の使い分けや、「おはようございます」と言葉を伝えてから一礼する『語先後礼(ごせんでれい)』の大切さを学びました。最初はタイミングに苦戦していた生徒たちも、繰り返し練習するうちに、美しく心のこもった挨拶ができるようになっていきました。



③ マナーの本質は「思いやり」

「マナーとは、相手を意識して行動すること。つまり、相手への思いやりです」古谷様のこの言葉が、生徒たちの心に深く刺さりました。形だけを整えるのではなく、「相手にどう感じてもらえるか」を考えることこそが、本当のマナーであると気づかされたようです。

今回学んだことは、間近に迫った職場体験学習だけでなく、これからの学校生活や将来の人生においても大きな財産となるはずです。

お忙しい中、貴重なご指導をくださった古谷様、本当にありがとうございました!

